

## Akiko Ebi 海老 彰子

30年来フランスと日本を拠点に、文字通り世界的に活躍し続ける、日本の誇る国際的ピアニスト。日本はもとより欧州各国、北米、南米、中国、中近東各国でオーケストラとの共演、TV・ラジオ・CD録音・ソロや室内楽演奏会を数多く開催する。芸大入学後、パリ国立高等音楽院首席卒業、同大学院修了。日本音楽コンクール1位、ロンティボー国際コンクール2位及び4つの特別賞、シヨパン国際コンクール上位入賞。仏政府から学術文芸シュバリエ勲章、パリ名誉市民メダル、日本シヨパン協会賞、「大江光の音ノ楽」等で2度日本ゴールドディスク大賞、エクソンモービル音楽賞本賞など受けた。演奏家として活躍する傍ら、近年、日本大学大学院芸術学部教授として後進の指導にもあたる。ラロック・ダンテロン（フランス）、ヴェルビエ（スイス）、マルタ・アルゲリッチ（ブエノス・アイレス、別府、スイス・ルガーノ）、IKIF（ニューヨーク）、トレドFORUM（スペイン）、エヒテルナッハ（ルクセンブルグ）等々、数多くの国際音楽祭に出演。NHK交響楽団、読売交響楽団、東京都交響楽団を始め、各国のオーケストラとの協演も多く、スクロヴァチェフスキー、グシュルバウアー、クレー、フルネ、コシュラー、佐渡裕、井上道義、小林研一郎、沼尻竜典、大友直人、広上淳一、松尾葉子等、多くの指揮者と協演。

また、室内楽ではオーギュスタン・デュメ、レジス・パスキエ、豊田弓乃 (Vn)、アルト・ノラス (Vc)、パリシ弦楽四重奏団、ヴィア・ノヴァ弦楽四重奏団他、モラゲス木管五重奏団などとの協演も数多い。日本はもとより、ヨーロッパ各国、南北アメリカ等、多くの国から招かれ、国際コンクールの審査員としても信任が高い。[ハスキル2回（スイス）ロン・ティボー2回（フランス）、マルタ・アルゲリッチ（アルゼンチン）、ポルト（ポルトガル）、モントリオール（カナダ）、ヴィアナ・ダ・モッタ（ポルトガル）、イトゥルビ（スペイン）、ジナ・バッカウアー（アメリカ）、パナマ（パナマ）、エピナル（フランス）等]。2005年夏、フランス各地での音楽祭や、秋に行った1ヶ月に亘るアルゼンチン演奏旅行では大成功を博し、2006年や2007年の招待も即決決定。2005年12月初旬には日本フィルと協演、その後エジプト文化省からの招待でカイロやアレクサンドリアでもコンサートを開く。2006年におパリ（サルガヴォ）、リスボン、東京、イタリア、スペイン、ニューヨークでも演奏会を催し、好評を得、2007年の再招聘につながる。

2007年は、冬にフランスでの5回の演奏会で始まり、春にスペイン（ORIHUELA）、ロシア（ブラームス第2番の協奏曲）、東京で2回、6月にスイス（アルゲリッチ音楽祭ではリサイタル他ドーラ・シュヴァルツベルグ女史と協演）、アメリカ（バッカウアー音楽祭、Salt Lake City）、7月にフランス各地（VEXIN音楽祭、パリでのCHOPIN音楽祭、エルヌ音楽祭）、スペイン（TOLEDO）、ニューヨーク（IKIF音楽祭）、8月にソニー音楽祭（軽井沢）等、活躍している。サントリーホール主催の第1回ピアノ公開講座を始め、数年来、訪れた各国から、マスタークラス開催の依頼も多く、好評を博している。